

## 多自然川づくり取り組み事例

タイトル：舞手川河口閉塞対策及び砂浜浸食対策		
水系／河川名：舞手川水系舞手川	河川分類：中小河川	
河川の流域面積：1.2km <sup>2</sup>	整備計画流量：13m <sup>3</sup> /s	セグメント：3
事業：環境整備	事業開始年度：平成27年度	
目標設定：定性的	段階：D(実施・施工時)	
課題・目的(主な)：流下能力の確保、貴重種、特定動植物の保全、干潟、浅場の保全・再生・創出		
工法(主な)：その他		
配慮事項(主な)：その他		

### 背景・課題、目標設定

#### ＜背景・課題＞

- ・平成17年度に舞手川に隣接する大新田海岸で、河口部の貴重な環境を守るため、階段護岸を延伸し線的防護を行うのではなく建設位置を陸域に後退させ、護岸前面に砂州や湿地帯を残し、面的防護を行うセットバック護岸が建設された。
- ・施工後10年経過し、セットバック前面の砂浜浸食による防災機能の低下及び舞手川の河口閉塞が問題となっている事や、生態系(特にカブトガニ)への影響が懸念されることから対策を行うこととなった。

#### ＜目標設定＞

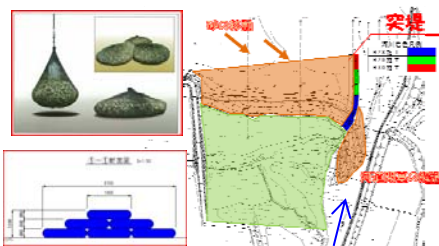
- ・舞手川の河口閉塞を防ぐこと。
- ・セットバック前面の砂浜を建設当時の状態に復元させ、面的防護機能を回復させること。
- ・カブトガニの産卵場所を復元すること。



### 取り組み内容・対策例

#### ＜取り組み内容＞

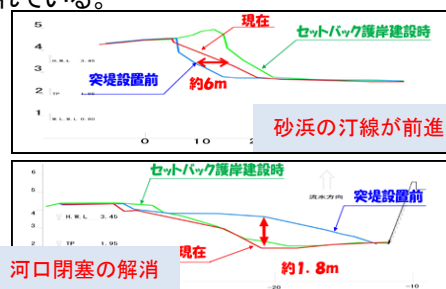
- ・対策方法を検討する際に、砂の移動経路を考察し、自然の力を利用することで、安価で簡易な対策を実施した。
- ・海岸の端に突堤を設置することで、内側に土砂を堆積させ、外側で河口閉塞の解消を同時に行う。
- ・年次計画を立て突堤の延長を少しずつ延ばして行くことで、対策効果を確認しながら施工ができ、突堤設置後の位置や高さの調整を行った。



### モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

#### ＜モニタリング結果・アピールポイント＞

- ・計画時から施工3年目の現在まで職員によるモニタリング調査を行っており、突堤設置前後を比較してみると、計画通りに、突堤の内側に漂砂が堆積し、突堤の外側では河口閉塞が解消されている。



- ・復元された砂浜にてカブトガニの産卵調査を職員で実施し、突堤付近に堆積した砂浜にカブトガニの産卵やカブトガニの幼生等が確認でき、良好な海岸環境が復元されてきている。

#### ＜今後の対応方針＞

- ・今後もモニタリング調査を実施しながら事業を引き続き行っていく。
- ・引き続きNPO団体と協力し、環境学習等を行い地域の関心を高めていく。



問い合わせ先 大分県 中津土木事務所 建設課 河川港湾班

電話番号 0979-22-2110

# 舞手川河口閉塞対策及び砂浜浸食対策

Keywords : 河口閉塞対策, 砂浜の復元, 良好な環境の保全

● Before



● After



近年舞手川河口部では、漂砂の移動に伴い、河口閉塞による出水時の浸水リスク増、砂浜侵食による面的な防災機能の低下、良好な海岸環境の消失といった3つの課題が生じた。自然の力をうまく利用し、少しの工夫と計画的な施工、定期的なモニタリングにより、3つの課題に対して安価にそして同時に効果的な対策を行った事例について報告する。